

子どもたちに伝えたい わたしの戦争時代

ふしぎな夢

とみやすきくよ
富安崑久代（八名井）

サイレンが鳴りひびく
空襲警報だ

今度こそ この番だ

B 29の爆音が聞こえる

みんな逃げ

B 29に向かって走る

わたしも走る

友だちの手をぎゅつと

にぎりしめて走る

「おばあちゃん いたいよ

手がちぎれるよ」

ハッと 目がさめる

友だちの手ではない

孫の手だ

「戦争を知らないぼくが

なんでおばあちゃんの夢に

出てくるの？」

その変な夢を

何回

何十回 見たことか

見るたびに孫に話す

話すたびに笑われる

八十をこした私でも

夢の中では十八歳

いつまで夢は続くのか

